

## 研究課題名 食道閉鎖症に対する治療と予後についての検討に関する情報公開

### 1. 研究の対象

1999年1月1日から2019年6月15日までに当院小児外科で食道閉鎖症に対する治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的 食道閉鎖症に対する治療として、当院では2013年から胸腔鏡手術が導入され、その術後の経過について評価していく必要があります。この研究では食道閉鎖症に対する治療とその予後について、後方視的に検討をし、胸腔鏡手術の有用性について決めることを目的とします。

方法 1999年1月1日から2019年6月15日までに当院小児外科で食道閉鎖症に対する治療を受けた患者の術中術後経過および予後について、診療記録より後方視的に検討する。基礎疾患、内服薬、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、輸血量、麻酔等）、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後について診療録より抜粋し、検討します。

研究期間

実施承認日から2021年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 田中裕次郎

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959

FAX 052-744-2980